



2019年 日化協LRI 研究報告会 ～化学物質の安全性評価に係る最新の研究動向について議論～

一般社団法人 日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：淡輪 敏（三井化学株式会社）、以下「日化協」）は8月30日（金）、「2019年 日化協LRI 研究報告会」を東京証券会館ホール（東京都中央区日本橋茅場町）にて開催いたします。

LRI（Long-range Research Initiative：長期自主研究活動）は、日米欧の化学工業会が人の健康や環境に影響を及ぼす化学物質の影響を評価する優れた研究を長期的に支援する活動です。日化協LRIでは、化学産業が抱える喫緊の課題や社会のニーズに応える研究テーマを広く皆様に紹介するとともに、化学物質安全に関連する最新の話題を共有する場として研究報告会を毎年開催しています。

今年の報告会では、現在実施中のLRI第7期研究11課題の進捗状況と成果について紹介する「ポスターセッション」に加え、午前の部では、「LRI第6期で完了した研究の報告」を、午後の部では「日化協LRI賞受賞記念講演」および「2019 ICCA-LRI & JRC ワークショップ参加報告」を行います。さらに「令和におけるレギュラトリーサイエンス」と題してシンポジウムを開催し、本邦における化学物質規制および試験法や評価手法の開発などについて、今後の展望と新たな技術的な課題等について議論する予定です。

（詳細は、添付の「2019年 日化協LRI 研究報告会プログラム」を参照ください。）

※日化協LRI賞とは…“化学物質が人の健康や環境に与える影響に関する評価”について優れた研究実績をあげた若手研究者を支援するために、日本毒性学会および日本動物実験代替法学会のご協力の下で授与する賞です。

【開催概要】

開催日時： 2019年8月30日（金）

10:00～17:00（受付9:30より）

場 所： 東京証券会館8階ホール（TEL：03-3667-9210）

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

（東京メトロ 日比谷線、東西線 茅場町駅8番出口）

参加費： 無料

参加申込： 2019年7月24日（水）より

日化協LRIサイトで案内 <https://www.j-lri.org/>

申込期限： 2019年8月28日（水）定員300名

■ 午前の部：

◇第6期で完了した研究の報告（口頭発表5課題）

■ ポスターセッション（採択中LRI研究11課題）

■ 午後の部：

◇日化協LRI賞受賞記念講演

◇2019 ICCA-LRI & JRC ワークショップ 参加報告

◇シンポジウム 「令和におけるレギュラトリーサイエンス」

・講演4題

・パネルディスカッション

《本件に関するお問い合わせ先》

（一般社団法人）日本化学工業協会 LRI事務局 稲若 TEL:03-3297-2575

<2019年 日化協 LRI 研究報告会プログラム>

日時： 2019年8月30日(金) 10:00~17:00 (受付9:30~)

会場： 東京証券会館 8階ホール (東京都中央区日本橋茅場町1-5-8)

プログラム：

敬称略

午前の部	
9:30	受付開始
10:00-10:05	開会挨拶 渡辺 宏 (一般社団法人 日本化学工業協会 専務理事)
	第6期 完了した研究課題の報告 座長： 小川 良二 (昭和電工株式会社)
10:05-10:30	エストロゲン作動性化学物質に対する新規 <i>in vivo</i> スクリーニング試験系の構築と低用量影響評価 代表研究者 中西 剛 (岐阜薬科大学 衛生学研究室 教授)
10:30-10:55	毒性発現経路および化学構造情報を指標とした薬物および化学物質に起因するヒト有害反応の予測法の開発 代表研究者 植沢 芳広 (明治薬科大学 医療分子解析学研究室 准教授)
10:55-11:20	セリンプロテアーゼインヒビター欠損細胞を用いた化学物質過敏症の高感度 <i>in vitro</i> 評価系の開発 (副題：呼吸器アレルギー検出のための細胞を用いた <i>in vitro</i> 系の検討) 代表研究者 中村 晃 (東北医科薬科大学 医学部免疫学教室 教授)
11:20-11:45	化学物質の呼吸器感受性 <i>in vitro</i> 評価法の開発 代表研究者 善本 隆之 (東京医科大学 医学総合研究所免疫制御研究部門 教授)
11:45-12:10	環境中の化学物質のモニタリング情報を管理するプラットフォーム (ChemTHEATRE) の構築と活用 代表研究者 仲山 慶 (愛媛大学 沿岸環境科学研究センター 講師)
12:10-12:15	第7期 委託研究課題の紹介
12:15-14:00	ポスターセッション ※展示は16:00まで 詳細は<参考資料>をご参照ください 13:00-13:30 奇数番号説明・質疑応答 (コアタイム) 13:30-14:00 偶数番号説明・質疑応答 (コアタイム)
午後の部	
	LRI 賞 受賞者講演 座長： 篠原 基輝 (AGC 株式会社)
14:00-14:30	シリカファイバー三次元培養担体を用いたヒト肝臓細胞の機能発現に関する研究 【日本動物実験代替法学会 第3回 LRI 賞】 古水 雄志 (崇城大学 生物生命学部応用生命科学科 准教授)
14:30-15:00	化学物質神経毒性の分子基盤解明と毒性評価指標の開発 【日本毒性学会 第5回 LRI 賞】 古武 弥一郎 (広島大学大学院 医系科学研究科 教授)
15:00-15:05	ICCA-LRI ワークショップ参加報告 日化協 LRI 事務局
15:05-15:20	(休憩)
	シンポジウム : テーマ 「令和におけるレギュラトリーサイエンス」 座長： 坂田 信以 (一般社団法人 日本化学工業協会 常務理事)
15:20-16:40	【講演者】 飛騨 俊秀 (経産省 化学物質管理課 化学物質安全室 室長) 福嶋 慶三 (環境省 大臣官房環境保健部 環境安全課 課長補佐) 川名 健雄 (厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 化学物質評価室 室長) 小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部 第二室 室長)
16:40-16:45	会場準備
16:45-16:55	パネルディスカッション (質疑応答含む) ファシリテーター : 坂田 信以 パネラー (五十音順) : 川名 健雄、小島 肇、飛騨 俊秀、福嶋 慶三
16:55-17:00	閉会挨拶 岩本 正和 (LRI 顧問会議議長 : 東京工業大学・北海道大学 名誉教授)

<参考資料>

■LRⅠ 第7期 研究（ポスターセッション発表テーマ）

敬称略

課題番号	研究課題	氏名	所属
① 17_PT01-01	<i>In vitro</i> 全身毒性試験チップデバイスの開発	福田 淳二	横浜国立大学 工学研究院 細胞組織工学研究室
② 17_PT01-02	血中 cfDNA を用いた化学物質ばく露影響を全身的に予測するスクリーニング法の開発と胎児期ばく露影響予測への応用	宮崎 航	弘前大学大学院 保健学研究科 生体検査科学領域
③ 18_S01-01	再構築皮膚モデルを用いた <i>in vitro</i> 皮膚感作性試験法 EpiSensA (Epidermal Sensitization Assay) のバリデーション研究	宮澤 正明	花王株式会社 安全性科学研究所
④ 19_R01-01	ヒト幹細胞試験による迅速・正確・低コストの化学物質ハザード AI 評価法の開発	藤淵 航	京都大学 iPS 研究所
⑤ 17_PT02-01	機序に基づくカーボンナノマテリアルの有害性と発がんリスク評価法の確立	津田 洋幸	名古屋市立大学 津田特任教授研究室
⑥ 19_R03-01	ヒト T 細胞の活性化・分化誘導 (Key event 4) を指標に感作性・アレルギー誘発性を評価する新規代替法の開発	善本 隆之	東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門
⑦ 18_S04-01	PNEC 導出における種の感受性分布の役割とその簡易推定方法の探索	加茂 将史	産業技術総合研究所 安全科学研究部門
⑧ 17_S05-01	ディープフェノタイピング法に基づく化学物質の生物作用分析システムの開発	楠原 洋之	東京大学 大学院薬学系研究科
⑨ 18_S05-01	マイクロプラスチックの存在下、非存在下における魚類への生物蓄積と生物間濃縮に関する研究	鑓迫 典久	愛媛大学大学院 農学研究科
⑩ 19_R05-01	劣化マイクロプラスチック由来吸着化学物質の体内動態モデルの構築と影響評価	大嶋 雄治	九州大学大学院 農学研究科
⑪ 19_D08-01	マイクロプラスチック生成機構の解明	黒田 真一	群馬大学 理工学府

※当研究報告会では、記録として写真撮影をさせていただきます。

撮影した写真は、当研究報告会の紹介や 開催状況を伝える目的で、情報媒体上で使用することがあります。

なお、撮影・使用にあたりましては、参加されている皆様方の個人が特定しにくいように十分に配慮いたします。